

第1章 【特集】 縦横に活躍する機動隊員

特集：縦横に活躍する機動隊員

機動隊は、警察の集団警備力の中核として、テロ対策や武装闘争での出動、災害発生時における初動対応等、昼夜を問わず様々な場面で活躍しています。

平成26年中は、広島市における土砂災害、戦後最悪の噴火災害となった御嶽山噴火等の大規模災害や、福岡県における暴力団対策等市民の安全・安心に係る事象への対応等、幅広い分野で縦横の活躍を見せました。

機動隊の概要

機動隊今昔 ～情勢変化への対応

機動隊は、昭和27年、「徹底した訓練を受けた精強部隊の整備強化」を目的として20都道府県警察に創設され、37年までには全国の警察に設置されました。

機動隊はその後、警察の集団警備力の中核として、ときには過激派の武装闘争に厳正に立ち向かい、またあるときには大規模災害の現場で助けを求める人々の救出救助に当たるなど、歴史の流れの中で絶えず変化していく情勢に対応しつつ、幅広く活躍してきました。



あさま山荘事件における出動状況
(昭和47年、長野)



成田現地闘争における出動状況
(昭和60年、千葉)

◆ 新旧の個人装備

昭和30年代から40年代にかけて導入され、治安警備等の場面で長年用いられてきた個人装備は、平成14年のサッカー・ワールドカップ警備を契機に、軽量かつ機能的な新型へと切り替えられました。

プロテクターは出動服の内側に着用するものから外側に着用するものへと変更されて着脱が容易となったほか、防護面積も拡大しました。

また、防護楯も金属製から、同等の強度を有する強化プラスチック製の透明なものとなり、軽量化が図られつつ、十分な視界の確保等も図られています。



旧型装備



新型装備

テロ等から国を「護る」

■ 有事即応体制の確保

機動隊は、常設部隊と非常設部隊とから成り、強固かつ柔軟な有事即応体制を確保しています。

○ **機動隊** 約8,000人体制

各都道府県警察に設置され、有事即応体制を保持する常設部隊です。

○ **管区機動隊** 約4,000人体制

平常時には警察署等で勤務しながら、機動隊に準じた形で警備訓練を行い、大規模警備等においては道府県を越えて広域運用される部隊です。

○ **第二機動隊**

警察署勤務員等から指定され、機動隊を補完して警備実施に当たる部隊です。

■ テロ等への備え

機動隊には、テロ等に迅速的確に対処するため、専門的な技能や装備資機材を有する**機能別部隊**が設置されています。

○ **銃器対策部隊**

銃器等を使用した事案への対処を主たる任務とし、重大事案発生時には、特殊部隊（SAT）と連携して対応に当たります。また、全国の原子力関連施設の警戒警備も行っています。

【体制】 各都道府県警察に設置（約1,900人体制）

【装備】 サブマシンガン、ライフル銃、防弾衣、防弾車両等

○ **爆発物処理班**

爆発物を使用した事案の発生に際し、爆発物の処理、被害の発生防止、証拠保全等を行います。

【体制】 各都道府県警察に設置（約1,200人体制）

【装備】 X線透視装置、防護服、爆発物処理ロボット等

○ **NBCテロ対応専門部隊**

NBCテロ（注）が発生した場合の原因物質の検知・除去、救出救助、避難誘導等を行います。

【体制】 9都道府県警察（北海道、宮城、警視庁、千葉、神奈川、愛知、大阪、広島及び福岡）に設置（約200人体制）
※上記以外の府県には**NBCテロ対策班**を設置

【装備】 NBCテロ対策車、化学防護服、各種検知器等



治安警備訓練の状況



整列する銃器対策部隊



爆発物処理班の訓練状況



NBCテロ対応専門部隊の訓練状況

（注）NBCテロとは、核（Nuclear）、生物（Biological）、化学（Chemical）物質を使用したテロの総称。

第1章 【特集】 縦横に活躍する機動隊員

災害等から命を「守る」

■ 災害派遣の中核

大規模災害発生時に都道府県の枠を超えて派遣される**警察の部隊**のうち、**広域緊急援助隊**（高度の救出救助能力と自活能力を有し、発災後直ちに出勤して救出救助等に当たる部隊）や**緊急災害警備隊**（被災地のニーズに合わせて幅広い業務に当たる部隊）は、全国の機動隊・管区機動隊の隊員等から構成されています。また、12都道府県警察の広域緊急援助隊には、より危険で困難な現場に対応するため極めて高度な救出救助能力を持つ**特別救助班 (P-REX)**も設置されています。



広域緊急援助隊

■ 災害等の現場で活躍する常設の機能別部隊

- **レスキュー部隊** ～30都道府県警察に設置
救出救助に係る技能や装備を有し、災害や事故の発生時に出勤して活動を実施します。
- **レンジャー部隊** ～各都道府県警察に設置
高層ビルや断崖等の現場において、ロープ技能等を駆使して各種活動を実施します。
- **水難救助部隊** ～各都道府県警察に設置
潜水技能をいかし、災害や水難事故等における救出救助、搜索活動等を実施します。



レンジャー部隊の訓練状況



水難救助部隊の訓練状況

■ 災害対処能力の更なる向上に係る取組

- **実践的な合同訓練の実施**
部外の専門家の協力を得て、特殊な訓練ユニットによる狭隘空間^{あい}の再現、ヘリ騒音の擬似再生等、実際の災害現場に近い状況を設定して救出救助訓練を実施し、練度向上に大きな成果を上げています。
- **重機の活用**
平成26年8月に広島市で発生した大規模土砂災害等の災害警備現場において重機が大きな役割を果たしていることから、機動隊では、部隊への重機の配備や隊員の重機操作技能の習熟等を積極的に推進しています。



重機の出動状況

女性隊員の躍動

機動隊は男性ばかりの部隊という印象がありますが、最近では女性の配属も行われ、様々な場面で女性隊員が活躍を見せています。



警衛先における歓送迎者の整理に当たる女性隊員



重要施設の警戒警備に当たる女性隊員

■ 警衛・警護における活躍

警衛・警護に伴う警備実施において、女性隊員は、要人等の身辺の安全確保のほか、観送迎者の整理誘導等の場面で活躍しています。機動隊では、女性隊員を対象とした警護訓練等を推進することにより、女性隊員の練度向上にも努めています。



警護訓練を行う女性隊員

■ 効果的な現場広報

雑踏警備や治安警備において現場広報に当たる機動隊員は、「DJポリス」と称され注目を集めています。その中でも女性隊員は目覚ましい活躍を見せています。ときに親しみやすく、ときに毅然と人々に呼び掛ける女性隊員の声は、雑踏事故等の未然防止に大きな効果を上げています。



警備現場で広報に当たる女性隊員

■ 女性幹部の登場

26年、警視庁機動隊に、全国で初めてとなる女性の副隊長が誕生し、各種警備活動の第一線で活躍しています。今後も、機動隊における更なる女性幹部の登場と活躍が期待されます。



訓練の指揮を執る女性副隊長